

# 物流における各種の自動車環境対策

## 2 エコドライブの推進

エコドライブは、大気汚染物質や温室効果ガスの排出の抑制はもちろんのこと、燃料代の節約にも直結し、費用対効果の非常に高い取組です。組織内の教育体制を整備し、エコドライブを積極的に実践してください。

### エコドライブのポイント

- 1 無用なアイドリングをやめる**  
○1時間当たりエンジン排気量の約1/10の燃料を浪費
- 2 経済速度で走行する**  
○経済速度より10km/h上げると約10%の燃費悪化
- 3 定期的な点検・整備の励行**  
○エア・クリーナの目詰まりにより約3~5%の燃費悪化  
○エンジンオイルを寿命以上に長く使うと、約3~5%の燃費悪化  
○タイヤの空気圧が200kPa(=2.0kgf/cm<sup>2</sup>)低いと約3%の燃費悪化
- 4 ギアチェンジは早めに行う**  
○ギア位置が1速低いと約20~40%の燃費悪化
- 5 無駄な空ぶかしをやめる**  
○大型車では1回につき約10~12ccの燃料を浪費
- 6 急発進・急加速・急ブレーキをやめる**  
○急ブレーキの抑制（エンジンブレーキの使用）により大型車では1回につき約20~25ccの燃料を節約
- 7 エアコンの使用を控える**

(データの出典は、(社)全日本トラック協会発行「エコドライブ推進マニュアル」)



また、キーロープのような簡易なものから、現在の走行状態に最適なアクセル操作などをリアルタイムで指示したり、走行状況を記録・解析したりすることでエコドライブを支援する機器まで、様々なエコドライブ支援装置が開発されつつあります。こういった装置の導入も積極的に検討してください。

### 荷主、流通業者の取組

- 運送業者に対し、**エコドライブを働きかけてください。**
- 環境認証を受けた事業者**に委託・発注の機会を多くすることなどにより、運送業者のエコドライブを促進してください。



### 運送業者の取組

- エコドライブを積極的に実践**してください。
- エコドライブを効果的に実践するため、エコドライブ推進リーダーの設置や研修会の開催など、**社内の教育体制を整備**してください。